

乳がん患者の集まり

の ごほうこく

私たちは 40 才代の乳がん患者です。最初は一人だったけど、同じ病気のお友達ができる、不安な気持ちがとても楽になりました。

今も一人で通院し、治療に立ち向かっている多くの人へ、病友作りのお手伝いをしようとの会を開催しました。

ようこそようこそ

7月1日、「乳がん患者の集まり」に16名が集まりました。患者が15名とご家族の方が1名、そのうちこれまでにさくらんぼクラブに参加したことのある人が9名来られていました。他院で治療中の方も数名おられました。

話題満載

考えてみたら、こんなに大勢の同じ病気の人と一度に会ったのは初めてです。自己紹介(病気について)だけで2時間近くかかってしまったのですが、最後の30分は席を移動して自由に話できました(まさに病友達作り！)。

乳がんになってから長い人で20年、今年手術を受けた新人さんもチラホラ、治療法もさまざまですし、思うこともいろいろありました。でも、どの人とも何か共通するものもあります。

今回の「乳がん患者の集まり」を開催するにあたっては、毎月開催されているさくらんぼクラブの部位別番外編と考へ、テーマや目的などまったく考えずに企画しましたが、思っていた以上に参加者が自分の病気・治療法・下着・ウィッグなど情報を得たいとおもっていたことがわかりました。誰かの工夫は他の人にも役立つことであったり、また誰かの悩みは患者に共通することでもあり、話題はあっちこっち行きながら、少しずつ参加者の距離を縮めていきました。

大歳先生登場！

途中で、通りがかった大歳先生がしばらく同席してくださいました。いくつかの質問にも気さくに答えていただき、普段の診察時とは違う、先生の別の一面に触れることが出来ました。ありがとうございました。

また、外科外来看護師の宮川さんも同席してください、自己紹介中に薬のことに話が及ぶと、宮川さんに質問する人がたくさんいました。「これからも何かお困りのことなどあれば声をかけてください。」と優しく言ってください、診察室での再会が楽しみになりました。

私たちは ひとりじゃなかった

病気が分かった時は孤独だと思った私たち患者のまわりには、同病の先輩・後輩、応援して下さる医療者の方々がたくさんいたのです。

最後にアンケートを書いていただきましたが、今後もこのような会に参加したいとの声がたくさんあり、やって良かったなあと嬉しく思いました。次回はまだ考えていませんが、またさくらんぼクラブでお目にかかるのを楽しみにしております。

この会のためにいろいろな準備をして下さった「がん相談支援室」のみなさん、ありがとうございました。